

研修 評価

研修名	摂食嚥下障害のある患者の看護 ～最後まで自分の口から食べたいを支えるために～				
領 域	協働する力を高める 研修	会場	看護研修センター	受講料	会 員：3,080 円 非会員：9,240 円
対 象	学習段階レベル（Ⅱ） 募集数(80 人)応募数(62 人)参加数(61 人)会員数(54 人)非会員数(7 人)				
日 時	令和 6 年 10 月 23 日（水曜日） 10：00 ～ 16：00				
ねらい（目標）	1. 摂食嚥下障害のある患者のQOLを高めるための看護の役割と援助方法を理解する 2. 誤嚥を予防するために必要な食事介助や口腔ケア方法を学ぶ				
講 師	鈴木 美千代 医療法人立川メディカルセンター悠遊健康村病院 総看護師長 摂食嚥下障害看護認定看護師				
内容・方法	○講義内容 ・摂食嚥下のメカニズムの理解 ・嚥下機能評価、アセスメント ・嚥下訓練、食事介助法 ・摂食嚥下障害によるリスクと対処法 ○研修方法 ・講義、演習				
結 果	評価基準： ①参加数が募集数の70%以上 ②研修内容の理解度（できた、ほぼできた）80%以上 ③自己課題の達成度又は研修目標（知識技術）の習得度（で ○参加者数 61 名 76% 【達成・未達成】 ○アンケート結果（回収率 93%） ・理解度 100% 【達成・未達成】 ・自己課題の達成度 98.2% 【達成・未達成】 ○受講者の意見 ・とてもわかりやすかった。 ・資料がもう少しほしかった。 ・日頃苦労している食事介助や口腔ケアについて、持ち帰り早く試してみたい。				
評 価・総 括	○目標達成の評価：【研修会の目標は達成した】・達成しなかった】 ・テーマ・目標・企画内容・時間配分など：達成した ・アンケート結果：達成した ○総括 ・目標、内容に関してはアンケートより理解度も高く妥当であった。				
課 題	・配布資料にないスライドが複数枚あった。臨床現場に役に立つ講義資料だったため、できる限り配布していただけるよう講師に協力をお願いする。				
担当者	教育委員				